京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一
定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久靜一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六〇三番
仁川支局
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

群山俄道中記

夕便

六月九日　山靈水神生

前述の理由を以て堀抜井戸は結極不成績に終つた、次には農商工部より踏襲して來た支那の水揚機械で龍骨車と稱するものを試みたが之も局部的部分的小作的には使用されるが一般的に之を使用しても完全に灌漑の目的を達すると云ふ譯には行かぬので今度は更にセントリヒルゲル式五馬力の水揚器械を据ゑ付け、五三里の農場に於て親しく試驗をして見た結果、成る程其揚水量は一晝夜二萬五千石に達し五十町歩迄はこれを涵ひ得るが、茲に一つの故障がある夫れは成る程機械力其ものは二萬五千石の揚水量あり五十町歩を涵ひ得るとしても其肝腎な水が不足であると云ふ一事である、今の朝鮮に於ては不足處か天水以外斯くの如き有力なる揚水器を据ゑ付け得べき潤澤なる水量ある河川に乏しい、そこで此蒸汽力を以てする揚水器の設備は結極適當の方法でないと云ふ經驗を得ると同時に他の一面に於ては燃料を要する斯くの如き機械的設備は、永遠の思慮を以て見れば頗る不經濟である事をも感じた。前述の如く水利灌漑に就ては種々の研究と實見とに試みたる結果、斯かる姑息なる方法設備を以てしては到底其目的を遂し得られざるべきを自覺したので茲に根本的の方法を樹てゝ大にしては十萬町歩の全州平野、小にしては自分の農場の水利をして永久に完全ならしめんと欲し、先づ其立案の順序として附近一帶の山川を隈なく跋渉し、親しく地理地形を見て調査研究を遂げた之れは今より五六年前の事に屬し例の暴徒騷ぎ等最盛なる當時であつたが、由來物事に凝り性であるのと警戒性に乏しいとでも云ふべき自分の性質として、其際躊躇逡巡して居られぬので隨分亂暴に諸方の山野を廻つたが、幸に格別の危險にも遭遇せず調査の目的を遂げ聊か得る處があつた、それは外でも無い此調査旅行中往昔の偉大なる水利設備の遺跡二三を踏査したる結果此古代水利の廢跡を利用復活するを以て當断機宜の策として最も適切なるべきを信じた、そして其古代水利の廢跡と云ふは裏里より白鷗亭に至る堤防の舊跡より想像するも、昔時に於ては三千町歩に餘る貯水設備を成したりと認めらるゝ古堤邑城は金堤郡の碧骨亭に於ける巨大なる貯水池の廢跡、又は益山郡黄堤橋貯水池の廢跡等である

元來云ふ迄もなく今日に於てこそ無智蒙昧なる朝鮮人なれど古代に於ては文化大に開け我日本の如きは萬事範を朝鮮に採りたるが如き史實より見るも斯の如き古代水利の偉大なる設備の廢跡あるは毫も怪しむを須ひざる處で現に我日本に於ては河内の國の水利土木を始めとして、往昔朝鮮人の教へを受けたる實例は少くない、斯くの如き次第で自分は益々古代水利の廢跡を利用し活用するの計畫を立てゝ實行の機會を待つた

●鮮牛移出と檢疫

目下釜山稅關移出牛檢疫所に於ける模様を聞くに内地に移出する朝鮮畜牛は其使途工牛向にして食牛としては移出せられざる由なるが昨年は食牛として試驗的に二回移出したるも當事者の言に依れば食牛は内地着船後檢疫の爲め一週間以上時日を要し而して航海中の日數を算入せざるが其航海中に於ける營養は極めて不充分なるに猶は檢疫のため一週間以上も繫留せらるゝを以て此間中肉以下のものに於ては全く營養快復の見込なきに依り其儘指定の地に送らんか却りて損耗を見るの有樣にて結果面白からず到底食牛としての内地へ移出は望む所に非ず然るに朝鮮牛は純内地牛に比する時は工牛としては最も優良なるを以て内地產よりも比較的需用多き方なるも登載船舶（帆船のみに依る）の關係上一組二十頭より三十五六頭位移出し能はざるは誠に遺憾の次第なるが是等移出牛は下關市場より各方面に供給せられ本年の如きは頗る好景氣にて目下五名の生牛商人朝鮮に入り込み居る有樣なれば以て此後に於て工牛としての移出は益々好望を見るならん然るに内地に於ける檢疫事務が今少し簡便の方法も出來得たらんには食牛として移出せらるゝ事も尠からず殊に内地の如く食牛の高價なる點よりしても頗る便宜を得べしと

●神經衰弱の豫防（二）

（四）腸の注意　腸は胃から送られた食物の消化に磨を掛け容易く血管に輸送する役目を持つて居るけれども一度腸を惡くすると消化作用を滿足に營む事が出來ない

（五）舌の注意　舌の上には味神經と云ふものがある此の味神經で甘い酸い苦い鹹いの味が知れる併し胃腸其他の病氣の爲め味神經の作用が鈍くなると甘いも鹹いも分らなくなつて勢ひ食べた物も味がなくなる味がない物を喜んで食べる者はないけれども胃病の初期などは食事が進む味神經も乘氣になり舌を催促して無暗に飲べさせる胃は消化に疲切つて可い加減に消化した物を腸に送る腸は面食つて加答兒を起す胃腸を損するものは舌だと云つて可い舌の注意は即ち食物の注意である

（六）肺の注意　肺病から起る神經衰弱は能くある事で熱が出る盜汗が出る煩悶が起る肺病に罹りはしまいかとの心配から神經衰弱を惹起した者も少くない胸が痛むからと云つて必ずしも肺病にあるものではない肺病に罹つたからと云つて必ずしも死ぬるものではない營養に注意し手後れにならぬ内に養生をすると助かる方が多いけれども胸が痛むから此れは肺病だ肺病に罹ると死ぬるに極つて居る今の内に好きな酒も飲むべし煙草も吸ふべしと自棄になつて不攝生をする醫者に見せると肺病ではない胃腸を害した結果神經衰弱に罹つて居るとの診斷馬鹿〳〵しいと思つても最う立派な一人前の神經衰弱患者になつて居る肺病の初期などでも到底全快はしないと諦めて仕舞つて煩悶をしたり不攝生をしたりするから肺病も重くなり加之に神經衰弱も併發する

（七）窒扶斯の注意　傳染病は大抵神經衰弱の原因になるものである窒扶斯であると短いのでも高熱が二十一日間は續く全快後でも頭髮が脫けたり精神がボンヤリなつたりする精神ボンヤリの方は何程養生しても大抵では恢復せぬ神經衰弱症が手を出すのには好い機會である

（八）インフルエンザの注意　此れも神經衰弱から誘はれると二つ返事で蹤きたがる十分監督注意しなくては取返しが付かなくなる

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌（千五百九十九號）工業の現狀と教育（手島精一氏）金融及有價證券市況（社説）對清政策管見（山本唯三郎氏）國債償還步合法（小林博士）行政整理難（莊田秋村氏）朝鮮棉花會社の解散（酒川漁郎）等本誌重要記事なり（一册十二錢東京市京橋區彌左衛門町經濟雜誌社）

▲貿易（六月號）執行弘道氏の（歐亞航行談）貿易欄の記事及英文欄皆貿易業者の好資料なり（一册十錢東京京橋區宗十郎町日本貿易協會）

▲實業之世界（第八卷十二號）堂々十四頁に互り「立國の大方針を論ず」と題する福澤桃介氏の所論を揭ぐ國民必讀の文字なり三宅雪嶺博士の「現代悲觀すべきか樂觀すべきか」は通俗的の國民訓何人も讀まざるべからず此他例により活氣横溢趣味滿々たる記事全誌に滿つ（一册十一錢東京市芝區愛宕町實業之世界社）

▲書畫骨董雜誌（第三十七號）床間の話（今泉雄作）日本橋の麒麟（黑田太久馬）日本に於ける銅像製作（藤田文藏）日本畫家の覺醒時代（大岡力）洋畫の由來（岡田三郎助）等を載す（一部十錢東京市本郷區湯島三組町書畫骨董雜誌社）

召使れ初



第八十五回　黑法師

「然し御安堵ござりませ」と若江はお道が心配に堪へぬ如く垂首きて、只太き息そのみ吐き居れる顔を覗きて「御前樣はあなた御心中を、よく御存じあらせられるでござります」

「御前樣大恩に泣かぬ日はござりませぬ、數ならぬ身をさほどまで思召し下さる御恩、其に海の底深きよりも深うござります」とお道は目皮押拭いつゝ「恐しい密書御披露なさせられても道を御憎みはござりませぬ噺」

「左樣御口上はあらせられませぬ、されど折惡う澤野樣御詰合せでござりまして……」と云ひ掛けて口を噤みぬ。

身に覺えなき事にてはあれど、日頃白き眼に睨ませらるゝ澤野殿御耳に、斯ほど恐しき事聞かれたるは、我身運命の破滅なり、假し御前樣、御信用はわらせられずとも、澤野殿の口は金をも熔かすべし、澤野殿の手に屬かする一味の口はやがて金をも熔かせたまはん。

「澤野樣御聞かせ、是非もない事ござります」とお道は深く諦めて『運の御縁も是までと心得まする、卑ない身を斯はざまで御引立て、お表の役人衆に比べて云へば、御側御用人格の身となる、一日御前樣御恩、二日國尾樣の隆、女には生れてあれど、武家御奉公を致すからは、假し長のお暇下し置かれても、此のお奥は去りませぬ、骸は不淨御門より出ることござりましても魂はこの局に殘つて、御前樣御身を守るでござります、若君御將來を守るでござります、道の心中を知らせられるは、若江樣の外ござりませぬ、不憫とも思し召しませ、不憫とも思し召して道の噂をもござりました時、心の潔白……忠義の外に混合物も無き、道の心の潔きを御披露あらせられ下さりませ」

まことにお道は一身を犧牲として、此御殿に奉仕するなら、設へ什麼やうの御疑ひを受くるとも、身を殺して魂のみ御殿の中に殘してと覺悟するなり若江はこの心の中推量して、思はずも涙に暮れぬ、次の間に泣崩れ居たるお察は、いつの間にか手を止めて、夢の如く考に沈みたり。

「お道樣、什麼をさほどに心細い事仰せでござります、澤野樣御聞かせござりませうとも、御前樣の心石でござります、樣でござります、あなた樣忠義のお心を反古に爲させられることござりませぬ、それは御安堵なされませ」と若江は深くお道の心に同情して「然し表立ちての御沙汰、如何なるお訊ねあらせられるかも知れませぬで、用心に如くは無し、お上から御尋ねない間に此方から名乘りかけて、主膳樣にお届けを爲させられるが、好くはあるまいかと推察、その事内々御意得たさちよと尋ね申し上げたでござります」

「今に始めぬ御心切、決して仇には受けませぬけれど、身に覺えもない事、主膳樣へ申し上げるも後やうでござりまするで、万事を神樣の手に委ね運を天に任す心でござります、一日の御奉公も忠義の光り身に添へば、其心は千年十年二十年の御奉公も不忠の暗に身を置けば、末代神樣御憎みを受ける道理、道は命の短いを嘆きませぬ、忠義の心の足らぬのを耻ぢまする」と男の及ばぬ詞なり。

若江はその顔を沈と見て

「さらばお道樣、お命を捨てなされても、身の明りをお立て遊ばす心でござりまする噺」

時間表　大門間

京城新報

組合教會の鮮人傳道を賛す

凡そ、國民智徳の源泉は、宗教と教育にあり、故に其宗教を觀察すれば、其國民の風俗と慣習とを察すべく、其教育を研究すれば、國民智識の程度を測るに足る、而して彼社會全班の狀態を推斷するを得べし、由來宗教心の無き民族は永遠の幸福を念はず、唯眼前の利益にのみ趨り、人類必須の智徳を缺乏し一生浮む瀨なきの境遇に沈淪するを常とす、朝鮮民族の如きも蓋し此範域を脫し能はざるものなり、鮮人社會に迷信多く之を鼓吹せる巫女等一種の勢力ありて、或は古來より傳はれる佛教が彼生氣なき碌々たる僧侶によりて僅かに命脈を保ちをることと、又一時全國を風靡するの勢ありし儒教が僅に一派の手によつて漸く存在を認めをらるゝ等の事實に徵據して、何人も否認するを得ず、之れが爲め、鮮人の多くが、堅實なる人生の行路を辿るを欲せず、遊惰に耽り、終に下等社會に至つては破廉恥に傾き、窃盜詐僞賭博の類は尋常一樣事と爲し、上下を通じて淸淨の快樂あるを知らざるもの〻如きは、うれ朝鮮民族化導の上に一大妨害たるや爭ふべからず、任を朝鮮統治に享る者豈之が匡救を忽にして可ならむや。

想ふに、朝鮮民族に宗教心の缺乏せるは、これ決して先天的にあらず、要するに專制政治の脚、即ち壓虐苛斂なりし政體の結果にして、之が爲め國民の思想は固定し意志は萎縮し、終に向上的精神の滅却茲に至りしものなるを以て、今我仁政の下に惡政の苦患を免れたる彼民族に宗教心を涵養せしめ之を善導するは蓋し不可能事にあらず、唯宣教者が目前の功を焦せらず、持久之れに耐ゆるの覺悟ありて始めて成功を期するを得可し、嗚呼朝鮮布教の容易ならざる如此、この時に際し、長く朝鮮に在つて布教に經驗ある渡瀨常吉氏を始め現今靈界の雄鎭として其名高き海老名彈正氏等日本組合教會に屬せる諸師の手によつて、未だ日本人として充分の事を爲す能はざりし、鮮人傳道は試みられんとす、其効果の如何は今俄かに豫測し難きも、此舉たる實に朝鮮布教に一新紀元を劃せるものとして吾人は其前途を祝福せずんはあらず、獨り吾人のみならず爲政者も之に對して直接と間接とを問はず便宜を與ふるに躊躇せざるなきを望む。願ふに、我宗教を朝鮮に宣布を試みしもの、佛教宗派中淨土宗及び西本願寺あるも其振はざるや甚だし、之に反して外國人宣教師は鮮土至る所に基督教會を設け、其本國の後援を得て[illegible]、彼宣教師は堅忍[illegible]敢て自由に教線を擴張し、殆んど鮮人布教を獨占せんとするの慨を示せり、[illegible]內の宗教家、即ち我宗教家が外國宗教家の如き活動をなし[illegible]宣教當局者其人を得[illegible]之に伴はざるか、[illegible]大原因の存するものあり[illegible]國民の後援乏しきがためと、又[illegible]朝鮮統治と宗教の宣布に對する觀念の冷淡なり[illegible]に之を遠ぶ、これを[illegible]國民共に其邪教にあ[illegible]宗教家の發奮に對し[illegible]歸する所なかるべから[illegible]しも外國宣教師のみ[illegible]布教をなすは、我文[illegible]況んや我宗教[illegible]に於て外國人の手を[illegible]なるもの〻あるにれい。

東京電報（廿四日發）

兩陛下御滿足

遣英宮殿下より二十二日英國皇帝陛下大冠[illegible]如く終了したる旨の公[illegible]天皇　皇后　兩陛下御[illegible]

遣英宮の暗動

英國皇帝[illegible]に御参列あらせられ[illegible]殿下にビクトリアン大[illegible]られたり

日瑞條約調印

日本及瑞西間[illegible]去る廿一日を以て調印[illegible]り公電ありたり

大藏證券借替

今廿四日償還[illegible]大藏證券一千萬圓は日[illegible]七月廿七日償還の條[illegible]以て借替に決定したり

東宮妃御誕辰日

明廿五日は[illegible]皇太子妃御誕辰日に相當する[illegible]御病中なるを以て正式の[illegible]せられずと

高等官の寄附金

濟生會に對[illegible]寄附金額は處屬長官[illegible]月末日迄に同會成立[illegible]なりしが本日迄に報[illegible]務省印刷局貴族院事[illegible]地方に過ぎざるが總[illegible]非共全部を取纏め七[illegible]收する筈なり

東宮殿下の行啓

皇太子殿下[illegible]日目下上野公園內に[illegible]

▲鹿兒島縣知事後任　鹿兒島縣知事後任は安河內內務參事官擬せられつゝあるが確かなる筋より聞處によれば尙ほ二三の候補者ありて目下詮議中なり或は靜岡縣知事の如く意外の邊より新任を見るやも計られずと

▲清內閣附屬官制　淸國新內閣附屬官制は既に制定を經りたり其の大要は一廳四局より成り即ち承宣廳統計制度敍官印章の各局之れなり

▲今秋特別大演習　今秋福岡縣に於ける特別演習後第四第十六兩師團の聯合演習は十一月十九日より二十一日まで三日間大島大將統監の下に京阪地方に於て舉行に付參加師團は十七日迄で第二種機動演習を爲し十八日中に統監指定の地に集會すと

▲漁業違反と抑留　去る五月以來露領カムサツカ西南區鯨漁場に於ける本邦漁船數隻は漁業規則違反の廉を以て露國官憲に抑留されたりとの報あり

雜報

英國議會と朝鮮

英國下院に於て朝鮮併合の英國貿易に及ぼす影響に關する討議中外務大臣マッキンノンウッド氏は述べて曰く英國は日本の同盟國なり隨て英國が朝鮮併合に同意したるは不理屈にはあらず日本は鑛山并に土地に關する權利に就き保障を與へ尙ほ朝鮮の關稅を十年間据置くことに同意せり之れ正當に期待され得べき總てなり貪慾政策を事とするは相策にして吾人は友愛寛大なる心を以て應接せざる可からずと、尙は英國統一黨下院議員ドナルドシエー伯及び同くキツクルトムソン氏は下院に於て朝鮮併合に關する種々の質問を提出せり外務大官マッキンノンウッド氏は合併は大體に於て同意し日本の意を害する事は朝鮮に於ける英人の治外法權の維持主張よりも甚しきなかるべしと云ひ鑛山土地並に關稅に關して日本の與ふる保障を繰返し以て吾人を貪慾飽く事なきものと思はしむるは拙策なり日本人は吾人の同盟者なり日本は吾人に對する極めて公正なりと云はざる可からず吾人は極めて友誼的に且つ寛大の精神を示す可しと

朝鮮森林山野面積

昨年來農商工部に於て實地に付調査を遂げたる朝鮮山野森林面積は此の程漸く右調査を了したるが右は從來の調査に比し最も正確を得たるものにして其の總反別は一千五百八十四萬九千六百十九町歩にして內成林地五百十二万二千六百八十五町歩稚樹發生地六百六十一萬九千四百七十三町歩無木地四百十萬七千四百六十一町歩なり而して本調査中の稚樹發生地とは鎌にて刈り採り得る小松山又は小柴山を總括し成林地とは稚樹發生以外の山林を稱したるものなり尙は濟州島、欝陵島及其他の小島は本調査に包含せざるものとす

森林令實施期

曩に制令を以て發布されたる朝鮮森林令の施行期に就て目下當局者に於て熟考中なるが多分八月一日頃より其の實施を見るに至るべしと當局者は說れり

學務局長講演（二）

普通教育と相並て必要なるは實業教育なり。身一度朝鮮に入り、四周の禿山を見、荒蕪の田地を望み、更に夫の倭小なる家屋に起臥し、而かも無爲にして光陰を徒消しつゝあるものの多きに思ひ至れば、何人も實業教育の必要を感ぜざるはなし。朝鮮總督府亦固より實業教育を以て今日の朝鮮に適切緊要なるものなりとなし、之が獎勵に力めつゝあり。蓋し實業教育は朝鮮の生民に生業を授け且產業の發達を圖る所以にして從て亦從來に於ける懶惰の陋習を一洗し、勤勉の美風に養成するに缺く可らざるものなり。此點は啻に實業教育のみならず他諸般の教育に一貫せる主義にして何れの種類の學校を問はず特に意を用ゐる所なりと雖も實業教育に於て最も多く其目的を達することを得べし、而して朝鮮に於て實業教育の重なるものは農業に關するものなり。其他商工業又は女子に在りては裁縫、手藝等を授け地方の情況に於て適切なる教育を授けざる可らず。之を要するに時勢の進運につれ民度の實際に應じ、最も適切なる教育を施すは今日最も注意すべき所にして、同じく智識を授くるも實用に迂く、徒に空理を談ずるに至らしめば、遂に生計の道を失ひ、一身一家を治むる能はざるに至るべし。此の如きは朝鮮人をして不幸の地位に陷らしむるものにして深く鑑みざる可らざる所なりとす。朝鮮人が新附の日本帝國民として最も必要なるは國語の學習なり。故に朝鮮總督府は特に國語の普及に注意を拂ひ居れり。此一事は朝鮮人が日本帝國の臣民として世に處する上に於て最も必要なるは諸君の諒せらるゝ所なるべし面して朝鮮人の教育に當るものは日本帝國の國民として教育すべきものなることを亦言を俟たず。過般來鮮したるローランド博士は余に告ぐるに朝鮮の宣教師諸君は常に羅馬書第十三章を朝鮮の子弟に教ふるに力め居れるを聞き頗る滿足したりと。余も亦博士の言を聞き諸君の用意周到なるを感ずる者なり朝鮮人教育の目的は前述したる如く朝鮮人の福利を增進するに在り、其弊は之を矯め、短は之を補ひ、且日本帝國の一員として必要なる思想と智識とを與ふべき亦前述の如し、然れども亦從來の良風美俗は之を尊重し、之を維持するに力むるは亦是れ教育者の任務なりと信ずるなり。

以上は朝鮮總督府の教育に對する方針の一端なり。近き將來に於て學制の確定を見るに至るべしと雖其要旨は前述の趣旨に外ならざるべし。余は多年朝鮮の教化に盡力せらるゝ尊敬する宣教師諸君が將來益々朝鮮總督府の教育方針を了解せられ、諸君の經營せらるゝ學校も此に相一致せられんことを望むものなり。余は更に朝鮮總督府の教育方針は朝鮮人をして善良なる個人たり、善良なる市町村民たり、而して又日本帝國の善良なる臣民たらしめんとするに外ならざることを明言するものなり。

終に臨んで余は宣教師諸君が朝鮮人の教化に對し多年盡力せられたる功績に對し多大の感謝と敬意を表するものなり。而して又余は此に寺內總督閣下が教育に關し最も熱心と趣味とを有せられ居るゝことを告ぐるは、諸君の滿足せらるゝ所なるを信ず。此事は其學校の公私たるを問はず、苟くも教育に從事するもの〻最も喜ぶ所にして敢て此に一言する所以なり。余は本會が能く會合の目的を達し、列席各位の上に祝福の豐ならんことを祈るものなり。

各道通信機關

通信局調査に係る朝鮮全道に於ける六月二十三日現在の郵便電信局所五百四箇所なるが內郵遞所中信取扱所郵便受渡所等を除き各道別に記せば左の如し

道名	郵便局	郵便所
京畿道	二三	三五
忠淸南道	一四	二
忠淸北道	八	五
全羅南道	一七	一四
全羅北道	一二	一〇
慶尙南道	一六	一三
慶尙北道	一八	一四
江原道	一五	八
黃海道	一三	七
平安南道	一二	二
平安北道	一七	九
咸鏡南道	一〇	〇
咸鏡北道	一五	〇
間島	一	一

人蔘は豐作

開城地方は早魃甚しくして田面龜裂を生じ稻の植付すらなし得ざるの狀況なるが此旱魃は却て人蔘栽培には良好なる由にて

開城參政課長會團に試作しむるもの等は發育非常に良しと云ふ因みに雨量多き時は自然に病害に罹るもの多きを以て人蔘耕作には降雨の多きを厭ひと云ふ

全南の細民救恤

全南羅州道に於ける饑饉は益々甚しく米價は日を追ふて騰貴し富豪は持米を買惜み爲め昨今に至りて細民は全然糧を口にする能はざるを以て谷城郡を除き各社還米を出して救助しつゝありと

京城教育會總會

京城教育會總會は既報の如く二十四日午後七時より京城日本人商業會議所樓上に開會關屋會長以下出席者百餘名にして會長の挨拶に次て會務の報告及副會長評議員補缺選擧を行ひ夫れより宇佐美內務部長官及石田視學官等の講演終りて二三の餘興等ある由にて定めて盛會なるべし

仁川商議撰擧

既報の如く仁川商業會議所議員半數撰擧投票は廿六日午前九時より民團樓上に於て舉行せらる因に今回撰擧すべき議員數は一級四名二級五名三級五名計十四名なり

會社脫稅問題

日韓瓦斯會社にては自社用に限り電氣器具及電線の輸入稅免除の特權を附與されゐたるが此の特權を濫用し某商人の手を經て昨年より今年に渉り巨額の器具を輸入し其の中一万餘圓の物品を韓國銀行の南大門新築行舍用として同銀行に賣却したる爲め端なく脫稅問題起り目下關稅當局に於て事實審查中なり而して會社側にては全く法規の解釋を誤りたるものなれば何卒追徵稅のみにて勘辨されたしと懇願し居る由若し萬一脫稅と決し正規の罰金を課せらるゝ事とならば會社は非常なる損害と不名譽を蒙るべく現に角茲兩三日中には何れとも決定を見るべし

仁川第五回民會

仁川第五回民會は來廿七日午後七時より民團役所樓上に於て開會し埋築地受領の件補助金下付の件元商業學校々舍賣却金處分の件民團手數料金規則中改正の件を議する筈なり

龍塘浦の埋築

黃海道廳にては今回七千七百圓の豫算を以て龍塘浦稅關監視署の角より海上を斜に約七十間の石堤を築き乘降に便ならしむると云ふ

●閔長官邸の午餐會　二十四日正午より李王職長官閔丙奭氏は寺內總督を始め各部長官明石警務總長兒玉會計局長李完用伯朴齋純子高永喜子李容植子の諸氏を蓮花峯なる自邸に招待し

●全北の農事近況　全北道にては本春以來氣[illegible]例年よりも雨量多く土地に[illegible]水に不足なく既に挿秧に着手[illegible]月十七八兩日に於ける降雨[illegible]來稀なる大雨にして到る處[illegible]極め居れるが全州附近三四郡[illegible]を告げ農民歡喜し何れも挿秧[illegible]七分通り植付を終了せり又低[illegible]水量夥多の部分は減水を俟た[illegible]すべきに付全部終了は向後一[illegible]を出でざるべしと云ふ

●菱田氏遞信官任命　總督府通[illegible]り菱田靜氏は今回總督府[illegible]せられ高等官六等に敍せら[illegible]

●大槻分隊長の出發　曩に[illegible]隊長より揚州分隊長に轉任し[illegible]大尉は二十四日發赴任したり[illegible]長村井大尉不在に付當分の中[illegible]藤中尉代理すべしと

●武田範之師逝く　當朝鮮に[illegible]と多くの友人とを有せる元一[illegible]武田範之師は今春來病氣に罹[illegible]於て療養中なりしが遂に養生[illegible]る二十三日逝去したるより當[illegible]知友は來る二十七日午後五時[illegible]侍天教堂に於て追悼會を催す[illegible]

▲京龍兩驛の貨客

▲南大門驛乘降客（廿三日分）　乘車客　七五二　降車客　[illegible]　乘車賃金　一、五八二、二〇〇

▲南大門驛貨物發着（廿三日分）　[illegible]

▲龍山驛乘降客（廿三日分）　乘車客　二四四　降車客　[illegible]　乘車賃金　一〇〇一、三七〇

▲龍山驛貨物發着（廿三日分）　發送　一二噸　到着　[illegible]　貨物賃金　三二三、八六〇　四七五、七六〇

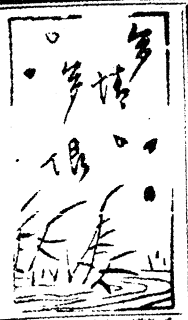
內地巡禮日記（六）

水浪生

廿一日午前十時神戸驛に着す[illegible]細携へ直ちに湊川神社に詣づ[illegible]此地に止まること數箇月、地[illegible]神社を呼ぶに「ナンコ」さんを[illegible]を非常に耳障りに思つた、而[illegible]ひべし、地人は今に背はナン[illegible]繰返して湊川神社と呼ぶこと[illegible]於是か余補ふ、湊川神社の神[illegible]

▼茶袋▼

[illegible]



京城 藝妓の半生(四三)

菊家 文之助(四)

梅の家の軒燈を借りるに就ても自身直接談判であつた其の當時梅の家の贔負客に中野と云ふ縣會議員があつた之れが命名親で藝名を利喜子と呼ばるゝ事になる從つて中野が贔負にする梅の家にしてからが可愛がつて呉れる恰度娘か妹の様に大切な客が贔負にする利喜子だもの決して粗末には取扱はぬ姐さん達も中野タンへの義理から可愛がらぬ迄も意地の惡いことはせぬと云ふ好都合であつたのである、此の梅の家の隣りが基督教會で毎日曜日には日曜學校がある、神様は大切なものだの念があつたので、日曜毎の集りには必ず出る而して話を聞いたり何や彼や種々の催しがあるのを樂みにして居て其の日には例令花に呼ばれても其方は斷つて行かなかつたものである斯うして風闘と障りもなく暮して居た十六の年の七月彼れは國元から「ヲヂキトクスグカエレ」との電報を受取つたので取る物も取り敢へず松山を發つて自宅へ歸つた時にはモウ叔父は死んで終つて葬式の準備中であつた叔父の二タ七日も過ぎてから彼れの母や親族の者等は松山へ歸れと勸める又梅の家の方からも歸つて呉れと手紙で言ひ越すが郷心が起つて歸り度くないので一流の駄々を捏ねて其儘實家に遊んで居たが併し彼れは決して長く安逸を貪るものでない其の年の九月志を決して廣島の篠原券から文と云ふ藝妓の妹分となつて文之助と名乗つて左褄を取つて出た、座敷を勤めるにも彼様云つた女だから淡泊に行くので相場師とか請負師とか材木商とか云ふ側の金離りの好い贔負の客が重であつた「中には何うだ俺が投げ出を仕様と仰云つて下さる方も間々有りましたが一向其樣氣にならず娘だく〜の一天張りで押し通した十七歳の八月女らしい心が起りましたが金銭の爲めに心にもない人に身を任せると云ふことは何分にも出來ないので夫れから後も相變らず所謂れ客は取りませんでしたが縁は異なもの或る日の事催された樽役方の宴會の席で此の人ならと此方から見染めて戀しい人が出來た、併し先方が何う思つて被在るか判からぬと云ふ甚だ心細い次第でしよう、酌に托けて話を仕掛けると妾のザツクバランが氣に入つたと云ので何うだ一苦勞しないかと云ふ段取に迄運びましたがね製何藝妓をして居ましても未だ生娘の串戯口こそ達者だがイザと云ふ場合に打つかつては只モウ顔を赤くして何分御贔負をと云つた時妾の舌は硬ばつて咽喉へ引つ付く様に思はれました」とは彼れの自白である鬼娘文之助が網に落ちた男と云ふは廣島衛戍病院附砲兵中尉の高山薩(假名)とて當時二十八の男盛り顔の色はお定まりの兵隊色ながら一寸小意氣な好男子であつたのだ

●悔悟の自白(八) 金波投

で其日も又この家に來て網を張つて居ると童中娘びに來たのがケーチの處で見知り合ひの居留地商館で副支配人とかをして居る伊國人のタースサハルと云ふ男で頻りに酒を飲んで居たが女將を呼んでさゝやいたと思ふとやがて妾の手を捕へていきなり奥の部屋へつれこみ内から鍵をかけられて……この間約三時間放免になつたのが夕方であつた昨日出たぎりかへらないから家のようすを見てこようと斷つて表へ出たが財布は重くなつたが身体は輕く成つてふわ〜と家の前へ戻つて見るとたまげざるをいない大厄難が持上つたきのう縛りをして出た我家がちやんとあいて居るのではつと思つて不審ながらそつと入口をはいつてわがるが否や飛鳥の如く跳りかゝつて妾の髪の毛をひきつかんで物をもいはず引倒し囲が破れる斗りにうちたゝき足で蹴られもう殺されると思ふくらいにいためられたので思はず悲鳴をあげて泣倒れて居ると二尺差をもつてきてさまはれの留守にそこへ泊りにいつた白狀せいこれが天罰だ一週間位かへらない積りだつたのが船の都合で急にすこしのびたので昨日かへつてきて見ればこの始末サア旨へいわねばこうだぞと二尺さしで樂しのからだをピシ〜ぶたれるいたさくるしさ身から出た罪さだから一言もないだゞうなだれてふるへているとさん〜罵しられた上に又もや二三度蹴られひよやしに帶の間に入れてあつた懐中がさりと落ちたのを手早く男に拾はれたから南無三とすがりついて取戻さうとするとヱ、何をしやあがるとけられてうしろへ倒れかたい…に成つて居る妾をしりめにかけて眩き金を改めて居たがなにしろ三十何弗の金が懐があるので其儘己れの懐ろへ入れてしよいと表へ出て行つて仕舞つた

●暢氣な駆落藝妓 二

十二日は英照祭日なりし爲め仁川市中も大變な人出であつた夜に入つてからは一層雜踏各料理店も可成りの賑であつたが其の人出を見んとて出たか、午後十一時頃一富士の裏門から浴衣がけの婆の藝妓と客とが出た客は三十恰好の小作りな有髯紳士全体何者ならんか物好が跡から跟けると海岸通りに出て港外碇泊の和泉丸のイルミネーションに白晝の如き海の上の壯觀を浮き出して居るのを眺めて居たが間もなく男女は伴れ立つて歌舞伎座前のすき燒屋に這入つたが一時間斗りして同家の仲居に怒られて一富士に歸つて終つたが詰らないと落膽したが念には念を入れろだと探つて見ると此の兩人こそは昨紙所報の通り目下同支店に保護中の駆落者名古屋の千兩藝妓三浦のぶと其情夫の川島米太郎と判つたイヤ暢氣の者だ哩と感心したとは物好も程のあつたもの

●西大門分署の强賊捕縛 西大門警察分署に於ては昨今入賊を捕へ犯罪捜査中なるが二十四日午前迄の被害品及贓物は約二千八百圓にして尙は續々發見しつゝありと

●桃山藝妓の廢業 原籍島根縣邇摩郡温泉村字……ウは四十三年四月二日より龍山桃山町紀の國屋に於て營業中なりしが去る二十三日度支部官吏戸村某と自稱する者に金三百圓にて落籍され目出度廢業したり

●物騒千万な雇人 北米倉町一番戸女鹿懐太郎方雇人熊本縣飽託郡川尻町生れ江良滿(二二)は去月下旬雪太郎方に雇はれ中本月十五日洗張の注文品銘仙物一反外八點を入質費消したる事發覺し南部署に逮れ目下取調中

●パコダ公園の奏樂 鐵路班パコダ公園に於て二十五日夜演奏さるべき駐箚軍々樂隊の演奏曲目左の如しマーチ「刀と鏡」嬉しき生涯、ドナウ河畔の婦女、滑稽雜曲集、龍騎兵の序、林中の鐵夫、復活行進

●浮浪罪に不服 長崎縣下縣郡奴加岳村一百十二番地士族當時住所不定波多野義範(二三)は浮浪罪として南部署に於て拘留十日に即決せられしが不服として正式裁判を求めたりと

●阿片吸飲者告發 中部琵琶洞朱順在(五三)中部樓井洞曾國鎮(四三)の二名は阿片を吸飲し衛生妨害犯として起訴せらる

日曜集會

●京城基督教會 南大門内相生町なる同教會にては二十五日午前十時より米澤牧師の禮拜說教「奮闘と歸省」あり午後八時より同師の傳道說教「人生行路の謎」ありと云ふ

●メソヂスト教會 旭町二丁目の同教會にて二十五日午前十時より藤岡牧師の禮拜說教「奉仕の生涯」あり午後八時より同牧師の傳道說教「天國の聲」

●ヴアンペテン夫人歡迎會 六月二十三日木原京城部長と同道入京せられたる同夫人の爲めに二十六日午後八時より旭町二丁目日本メソヂスト教會に於て其の歡迎會を開くべしと云ふ

●日本基督教會 旭町四丁目の同教會にては二十五日午前九時より日曜學校同十時より植村正久氏の禮拜說教あり午後八時よりは同氏の傳道說教ある由なるが演題は未定なりと

●微笑會 初音町二丁目の臨濟寺に於ては二十五日午後四時より圓山太嶺禪師の宗門無盡燈論例會提唱ありと

●禪學提唱 若草町一丁目曹洞宗兩大本山別院にては今日曜午前九時より禪學無門關及般若心經の提唱ありと

廓のうはさ

▲久方振りにて花柳界の噂を申上候▲第一騷妓に對し健康診斷をなすとの風說ありてより彼れ等の狼狽一方ならずガヤ〜と不平を列べ居申候處或る者は曰く「玉石混交は恐れ入る」と或る者は曰く「何うでも健康診斷を行ると成ら寧そ女郎になら」と上分別と申すべく候▲此頃花月より出でたる政奴拍子生れが江戶の向島だから櫻と改名しては何うかと申す客ありしを仲居のれせん鳥面を突き出して曰く「櫻はもう葉櫻ですよ毛虫の著いてる」と爾來る客の曰く「政奴は葉櫻として置いて抔れ、せん前は何の花だらうウム左様だ、千に一つも仇はないと云ふから茄子かと云ふと茄子が宜からうナア茄子」ぞと「茄子もアノ細長い顔子よ」▲菊家の政奴此所より現はれたる雛妓の雛子と云ふは香の妹分と云ふ觸れ出し愛嬌のある美い見なり藝は菊枝の丹精に上達著しき由に候▲岡家の文子當年十二歳の小粒ながら猛烈な眼鏡盧者にて御大文之助の子供時代を正で行く方に御座候文之助曰く「飾り惡戲でも困るもんですナア」と▲清水席のヤン茶は孕み申候屢々念にも孕み申候民さんの嵐を孕み申候たるかるたと申す妓は容貌も美し座敷ばさ樂しみ居候▲岡席より今度現はれ爲め臨時休業致し居候其の子が男ならもナカ〜に賑かなる由に候▲井円本店の權助六月十五日限り年期明き申したれば近々自前にて京城券より御見に入るべき筈に御座候▲岡樓の鶴吉ナカ〜面白い妓に候へども名が賣れないのは如何なる理由か不思議なりと顎を撚り居る粹士有之候ハテ何うした理由か識者にも判明致さず候(鳳閣子)

●演藝だより

●浪花館 二十五日の演し物左の如し三人旅 枝輔(枝三郎)てうしの替り 圓(圓三)浮世床(芝鶴)筑前琵琶 淵入(駒鶴)船辨慶(鷹圓)伊藤公豪遊(大阪柳丈)音曲倶樂部 呆笛(ジヨンベール)

●壽座 大入好人氣なる片岡我之助一行二十五六兩日の代り前狂言は「實錄先代萩」大序より對決迄にして切狂言は「無邪脚大和往來」忠兵衛封切りにして其の重なる役割は左の如し午後正二時開演 原田甲斐、片倉小十郎、龜屋忠兵衛(松之助)女形れどよ、蜂谷六左衛門(右内匠)淺岡局、けいせい梅川(右衛門)田村驛鈴守(鶴郎)神並六左衛門丹波ヤル右門(奥山)こし元壽保松鏡々之助、坂倉内膳正、土屋治右衛門(飛蔵)中老錦木(松幸)荒木和助朝日奈彌太郎(長太郎)中老松下、肝入由兵衛(呂昇)伊達安藝守(松十郎)大場道益(晴十郎)中老澤田、水戸光圀 井筒屋れゐん(卯左衛門)

平民文庫

▲某會社の事務員と云ふ不平生なる人より下の如き投書があつた▲近々れ役人連は例に依つて半日勤めに成ると云ふ何う云ふ理由かと聞けば暑いからだと云ふ成程左様云へば夏は如何なる年でも暑かつた如だ▲半日勤めても月給は全部貰うのだと云ふ結構な稼業もあつたものだ▲一日居ても爲る用は無いのだよと云つたれ役人がある、用が無い位苦しいものは無いからね、暑いと云つても役所は涼しいが、其の涼しいのが却つて苦痛だ、と云ふのは用が無いから茫然してると眠くなるからなア半日だつて事務は樂に片付くよ、併し所に依ると左様も行かぬのが一二ケ所はあらうよと云つたれ役人もある、成る程是れは苦しから斯う承はつて見ると半日勤めで結構である▲百姓は一日働いて其の半日分も收益がない夫れで居て半日働いて百姓より倍も倍も多い收入のあるれ役人を養はねば國家が治らないと云ふ譯に例へると百姓は働き蟻である、蟻なら夫れで濟むが百姓は之れに何日迄甘んずるであらうか▲之れに附けても同じれ役人ながら憲兵さんや巡査さんは氣の毒である▲と云ふのだ言ふが如くんば實政者の三郎に値する(小僧)▲西大門守衛中の或る人は肝腎な職務は度外視して韓人家邊にて賭博に耽つて居る云々の投書ありしが仲偶にてはなきか現も角監督者の御參考までに(係)▲本町〇丁目金物店の素番頭さん時節柄も考へず物翠の〇〇と寄席見物なんか生意氣な事をするな(精通女)▲此の投書も怪いぞ物翠の〇〇とは何んだ金くなら名を書くべし、怪しいと思ふから本町〇丁目とした(小僧)▲〇〇さん好く見拔きましたね金くよ口で貶しても心の中に「わかつて」いやな主でも浮氣すりや可愛い浮氣する程可愛ゆなると云ふことさへあるにサ(井門支店溜子)▲此の投書が又頗る怪しいのだ併し別段毒にもならない(小僧)▲元花月の民子一時情死を仕兼ねましき程に逆上た情夫が此の頃刑事問題で訴へられてるのが可愛相で堪らず辯護を擇ふて現在の御亭を煽て上げ其の辯護に力を入れさせる事にしたトハ知らぬ御亭殿一片秡々たる俠骨なんかんで納まつて居る所頗る珍である(溫嘉次生)

公人私人

▲和田世氏(高知縣事務官)二十三日入京山本▲野村敬治(土佐遠洋漁業株式會社取締役)同

●相場電報

[illegible]

米相場

[illegible]

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店
電話九九三番（夕）

東京櫻組

定價表型錄
寸法用紙御
申越次第
呈仕候

東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
合資會社 櫻組製靴部
電話本局三一六三・三一六四番 振替口座東京一六五二七

會員募集
◀好評湧くが如き▶
家庭料理
通信講義錄
（六ヶ月卒業）
東京芝區白金臺町
東京割烹講習會
日下入會金免除
見本無代進呈

印刷世界

每月二十日發行

本誌は印刷界に於ける指南車なり
本誌は印刷技術家必讀の好雜誌也
本誌は印刷業經營者參考の好雜誌也

六月號既刊 材料豐富有益文字横溢す
定價拾錢郵稅一錢 六ヶ月前金六拾壹錢
大賣捌所 北隆館、東京堂、東海堂

東京市京橋區西紺屋町秀英舍內
印刷世界社

瓦斯コークス販賣

京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

韓國銀行舍宅下
仁川山根町
養雞場

●白色レグホン ●黑色ミノルカ
●ノーモルカン系黑色ミノルカ（?）
●ニユーハンプシヤー系（?）
●ブリマスロツク ●バフコーチン
●ワイアンドツト ●オーピントン
●ウーダン 其他
右種禽種卵御希望の方には分讓す

◀製粉の元祖▶

TRADE MARK
SUN RISE

一、別上特製品
一、大陽一等品
一、敷島二等品
一、月世界三等品
一、大和四等品
一、菊世界五等品

最新式發動機を使用し良好なる原料を撰び精製仕居候間多少に不拘御注文之程偏に奉希上候

京城中部琵琶町（水標橋通）
京城製粉所
電話一〇八二番

遊漁御案內

漁舟漁具餌は勿論經驗に富める案內者附

仁川仲町三丁目（民團役所通）
仁川用達社遊漁部
電話二三五番

義齒術一般

京城明治町二丁目（森、村質店隣）
榊齒術所
電話二（六六九番）へ

ルイレキ

ルイレキ病患者に告ぐ

本劑は普通賣藥より効驗顯著なる事確證す故に如何なる永年の患者にても五週間服用すれば全治保證
▲郵券二錢封入申込次第詳報す・東京市芝區南寺町一八 東洋堂藥院
▲販賣店望みの方は御照會あれ

諸公債株券現物並に米穀賣買
仁川米等極めて速迅確實に取扱ひ可申候間多少に不拘命御用願上候

米穀並ニ有價證券問屋
京城古市町四十番戶（南大門停車場前）
（電話一二九八番）
㊅ 柴山組
主任 柴山國太郎

日々相場高低ハ御一報次第電話及日報ヲ以テ御知ラセ致シ升

直輸入毛絨物各種
籐寢臺及籐椅子冷藏庫
諸談卓子掛夏簾掛類
蛇車及花莚種々
撃劍道具柔道着
刀劍類、馬具一式
大學石鹸長崎製洗石鹸
舶來空氣洋燈各種
火止石油機械用油各種
大弓同矢及附屬品

火止石油特約店
ノンパレル

京城本町三丁目
森安吉商店
電話四三〇番
振替口座朝鮮一五〇番

工業用
家庭用
洗濯石鹸
アイラント
マップ
浮石鹸

（其他）豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油
苛性曹達◎洋チャン◎椰子油●●●●
工業用諸油製造販賣

京城旭町二丁目
朝日石鹸製造所
電話九七三番
振替貯金番京城四〇〇番

効能ある溫泉

浴用効能
りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せんき、[illegible]、らいびやう、ばいどく、できもの、りんびやう、しつかち、しきゆう、ぢのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切

外用効能
きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひせん、はのいたみ、いんこうかたる

内用効能
ひえ[illegible]、しんぞう、あびやう、らようかた[illegible]、らいびやう、はいびやう、たうだん、かつけ、せきずい、じんろう、ちゆうふう、げ[illegible]、はらいつう、りようまちす、[illegible]ようかち、しきう、酒のよいひたみ、病後衰弱、りんびやう

京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一一番）

旅館
浴客
貸席
鑛冷泉

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

韓國銀行

電話 參壹番 壹貳六〇番 六貳貳番 壹貳六壹番

支店出張所（大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣）

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

龍山櫻町百十一番戶
主任醫 村田象一
整骨專門治療院

毎日午後二時より五時迄出張
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何様の折骨脫臼も之を治療せしむ

先代の門弟 助手 中野伊之七

最上醬油

登錄商標　登錄商標

特約店
京城明治町一丁目 大塚京城支店
京城明治町一丁目 山邑京城支店
京城大和町一丁目 山本醬油店
京城本町四丁目 前田酒店
京城本町二丁目 佐藤牧商店
龍山元町 豐古商店
龍山本町 村井商店
仁川京町 高雄支店
釜山南濱町 大塚出張所
平壤大和町 大塚出張所
安東縣四番通り 大塚出張所
群山全州通り 中柴支店
木浦 守田商店
元山元町 渡邊商店

釀造元
永登浦
大塚醬油釀造所

大塚醬油釀造所日曜廣告

眼科專門

前大韓醫院眼科部長
金井豐七

京城本町六丁目（元軍司令部通り）
金井眼科醫院
電話一五五六番

パナマ、麥稈、學生用夏帽子
夏帽子荷揃

京城本町五丁目
丸二帽子店

日本蓄音器商會朝鮮總代理店

日本 朝鮮 音譜
各種品揃

音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候

大聲發音器

歐米雜貨
洋酒食料品
洋煙草類
直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

腸胃新藥

タカヂアスターゼ

東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町
竹田津三平

專賣局販賣品

土耳古 紙卷莨金口

SKS
エスケーエス

特約販賣店
京城辻屋、龍山吉田、木浦沖永、平壤碧昌洋行、鎭南浦宇沖木、馬山西川、公州中芝

嶄新建築材料

◎マルソイト便利瓦
◎石綿セメント瓦
◎P＆B建築用紙
◎P＆Bフエルト
◎P＆Bアスファルト
◎吉田木材防腐劑

◎特許自働窓框止
◎建築用金物類
◎壁紙及硝子紙
◎リノリユーム敷物
◎鋼鐵中心飾
◎鋼鐵打出天井板

京城永樂町二丁目
東京 藤原京城支店
（電話一八九番）

工事見積等は懇切に御相談に可應候間御用の節は御一報被下度候

DIGESTIN

新消化藥 ヂゲスチン

政府特許 專賣
日、英、米、露、佛、伊、白、印、加、墨、墺、瑞十三ヶ國

▲銀賞牌受領！（發明品博覽會日英大博覽會に於て）

本品の特徴は彼のヂアスターゼと異り單に澱粉質のみを消化するものに非ずして克く食物中の主要成分たる蛋白質をも完全に消化し而も吸收せしむる世界無比の最新藥なり（▲販賣所は各地藥店にあり）

發賣元 合資會社 圓城商會
東京市日本橋區本町三丁目

本場精撰

茶

右銘茶各種新物續々入荷に付卸小賣とも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇番
振替京城五〇二番

尾州半田
中埜本家
清酢

特約販賣
仁川京城
高雄支店

新茶賣出し

精撰本場

靜岡 香茶

右新製品澤山着荷仕り宇治靜岡各國銘茶と共に精々吟味仕卸小賣共大勉强仕候間倍舊御引立且つ不拘多少御注文の程願上候敬具

銘茶
鰹節
海苔
卸小賣
仁川宮町二丁目
㊣ 青島商店
電話七〇九番
振替京城六〇番

◉ 貸金

旭町二ノ一五別府組車根場筋向小路
有給者には極秘密に低利融通可申候
高橋

㊎ 芙江公州間 定期出帆 廣告

芙江發每日後一時四十分公州着後六時
公州發每日前七時芙江着後四時半
御客樣の御便用として船內新聞雜誌其他將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ

六月中 滊船出帆 廣告

海州行 安東丸 廿六日、三十日
海州丸 日、日、
濺津富里浦屯串行 三吉丸 日、日、
三吉里海倉島行 武敷丸 日

仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番七五〇